

平成19年度予算案について

ハートフル北九州改革元年予算

～市民の声に耳を傾け、
市民の笑顔が広がる政策展開を目指して～

平成19年5月

北九州 市

はじめに

ハートフル北九州改革元年予算 ～市民の声に耳を傾け、市民の笑顔が広がる政策展開を目指して～

私は、「ハートフル北九州マニフェスト」で市民の皆様とお約束したとおり、これまで整備されてきた都市基盤を十分活用し、北九州市を「人にやさしく元気なまち」に構築していきます。そして、このため、私が初めて本格的に編成を行う平成19年度予算案において、「マニフェストの思い切った実現」を断行することとしました。

まず、「人にやさしいまち」づくりに向けて、子育て・教育・福祉などの分野において、市民の目線に立った大幅な拡充を図ります。

また、北九州市では、かつてない大規模な企業進出が続いていますが、さらなる「元気なまち」を目指して、経済振興に全力を尽くさなければなりません。

しかしながら、一方では、地方交付税の減少等で、大変厳しい財政状況の下での予算編成となりました。このため、「北九州市経営基本計画」を発展させ、徹底した経営改善と民間の活用を進めます。

これからも引き続き、市民の皆様とともに北九州市の新たな時代を構築するため、市職員共々でき得る限りの努力を尽くす決意です。

市民の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成19年5月22日

北九州市長 **北橋健治**

1 平成19年度予算案の概要(総論)

(1) 平成19年度予算案の規模等

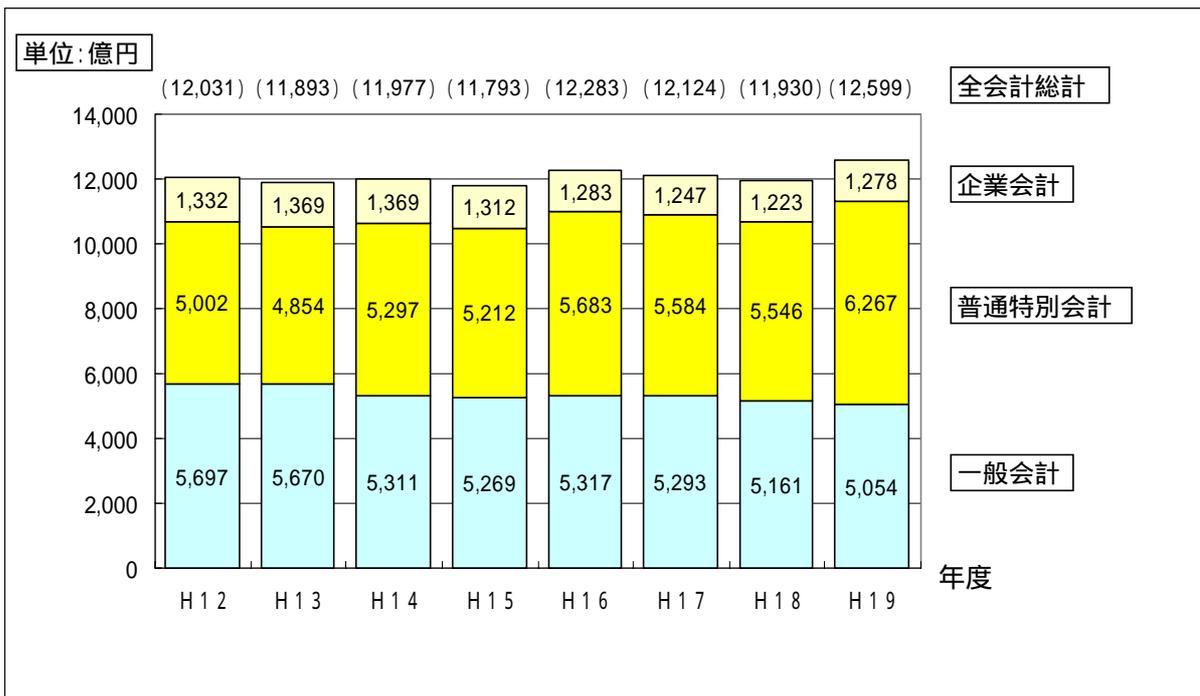
平成19年度予算の規模は、一般会計5,054億円、普通特別会計6,267億円、企業会計1,278億円となり、総額では1兆2,599億円となっています。

《全会計の予算規模》

(単位:百万円、%)

	平成19年度	平成18年度	差引(-)	
			金額	伸率
一般会計	505,412	516,085	10,673	2.1
普通特別会計	626,704	554,602	72,102	13.0
企業会計	127,789	122,281	5,508	4.5
合計	1,259,905	1,192,968	66,937	5.6

《全会計の予算規模の推移》



一般会計予算規模

平成19年度の一般会計予算の規模は5,054億円、前年度に比べ107億円の減、率にして2.1%の減（前年度は2.5%）で3年連続のマイナス予算です。これは、平成7年度に次ぐ13番目の規模となっています。

■ 主な事業別増減理由は下記のとおりです。

新門司工場建設事業	約43億円
産業技術保存継承センター	約18億円
職員給与費	約14億円
乳幼児医療費支給制度	+約6億円
国際物流特区企業集積特別助成金	+約8億円

(2) 平成19年度の厳しい財政状況とそれへの対処

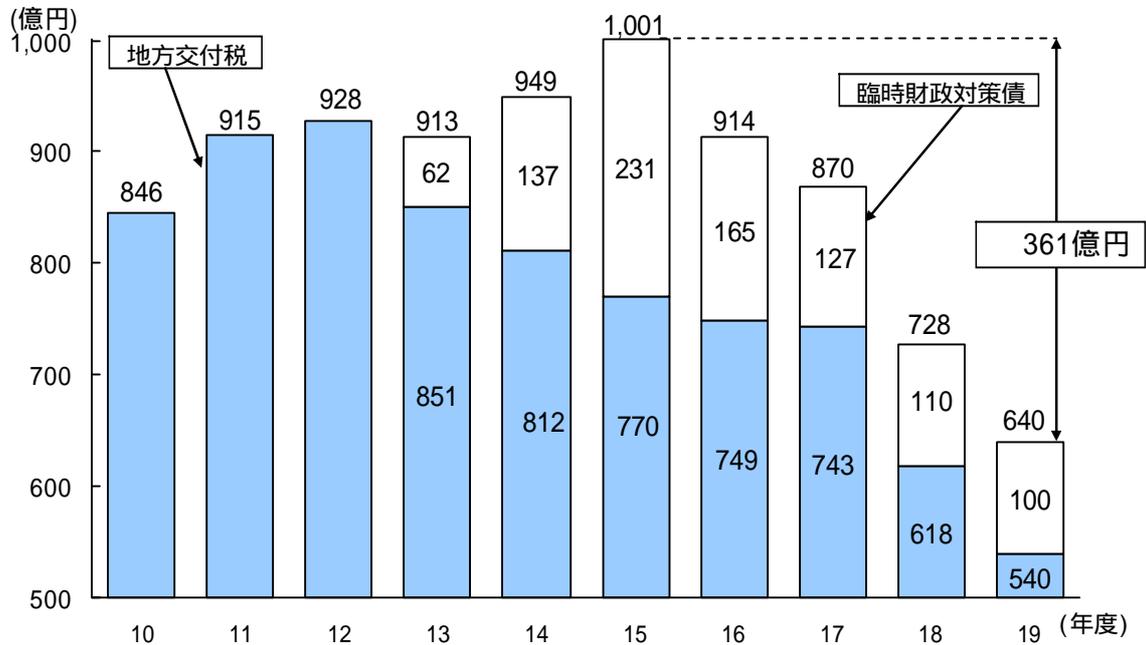
平成19年度は、これまでも増して厳しい財政状況が見込まれています。

まず、**歳入面**では地方交付税等はピークの平成15年度（決算）と比較した場合、361億円もの減少（1,001億円→640億円）となっており、18年度（決算見込み）と比較しても約90億円の減少（728億円→640億円）が見込まれます。

また、市税収入は、前年度より110億円程度の増加（1,584億円→1,694億円）が見込まれますが、そのほとんどは税源移譲・定率減税の廃止など税制改正によるもので、実質的な増収はほとんど見込めません。

この結果、平成19年度の一般財源は2,677億円となり、前年度と比較すると約104億円も減少する厳しい状況です。

《地方交付税等の推移》



* 10～17年度は決算、18年度は決算見込み、19年度は予算

《一般財源の前年度比較》

(単位：百万円)

	19年度	18年度	-
市税	169,442	158,367	11,075
地方譲与税	4,041	10,591	6,550
県税交付金	22,112	21,243	869
地方特例交付金	1,110	3,800	2,690
地方交付税等	64,000	75,500	11,500
地方交付税	54,000	64,000	10,000
臨時財政対策債	10,000	11,500	1,500
減税補てん債	0	1,400	1,400
その他	6,964	7,168	204
計	267,669	278,069	▲ 10,400

* その他：交通安全対策特別交付金、繰越金、宝くじ収入等

一方、**歳出面**でも、社会福祉関係経費や公債費が累増しており、「ハートフル北九州マニフェスト」実現のための財源捻出も考えますと、極めて厳しい状況の中での予算編成となりました。

このため、平成19年度予算編成より、「北九州市経営基本計画（以下「経営基本計画」）」に基づき、新たに**「戦略的予算編成システム」**を導入することとし、歳入と歳出の収支均衡を図りつつも、一定の政策的経費を確保することとしました。

このシステムにより、マニフェスト関連事業への重点化（19年度事業費 約299億円（対前年度99億円増））、経営基本計画に沿った経営改善（145億円）を行い、政策の強力な実現と行財政システムの簡素・効率化の両立を図りました。

《参 考》

市の財政状況を家計（年収500万円程度）に例えると・・・

平成19年度は国からの仕送りが10万円減少します。さらに、借金の支払いが実質2万3千円増加します。

このため、5万円の自己収入の増と9万5千円の節約を行うとともに、事業の重点化により、マニフェストを実現します。

また、借金は8万2千円減らし、将来の支払い負担を軽減します。

(3)「ハートフル北九州マニフェスト」の思い切った実現

平成19年度予算案では、「ハートフル北九州マニフェスト」の思い切った実現を図り、「市民の声に耳を傾け、市民の笑顔が広がる」政策展開に向けて、大きく舵を切ります。

基本的な考え方としては、平成19年度に実施可能なものはすべて前倒して実施する（例：学校給食環境の充実のための経費、障害者小規模共同作業所の助成強化など）とともに、検討が必要なものについては直ちに着手することとしています。

なお、マニフェストにおいて早急に着手することとした40項目に関連する事業について、平成19年度予算案に盛り込まれているのは総額299億円（平成19年度予算の前倒しとして取り組んだ学校施設の耐震補強事業を含む）であり、18年度予算より約99億円の充実を図ったところです。

《マニフェスト関連事業の19年度予算案への反映状況》

（単位：百万円）

	19年度	18年度	⑱-⑱
子育て支援の重点化	3,014	2,163	851
教育の重点化	8,725	6,602	2,123
福祉の充実	1,726	584	1,142
環境首都の実現	1,034	960	74
元気な経済都市づくり	12,498	8,112	4,386
ハートフルなまちづくり	2,543	1,331	1,212
市民と共に歩む市政運営の推進	321	176	145
計	29,861	19,928	9,933

《マニフェスト関連事業の主な内容》

①「子育て日本一を実感できる子育て支援の重点化」

安心して子どもを産み育てることができる地域づくりを推進し、「子育て日本一を実感できる」まちづくりを進めます。

● 関係予算額（歳出額）：約30億円（約9億円増）

● 主な新規・拡充事業

ア) 乳幼児医療費支給制度 2,258 百万円（630 百万円増）

《概要》乳幼児の保険診療による医療費の自己負担額の助成について、19年8月から5歳未満の通院医療費を小学校就学前まで拡大します。

イ) 母子健康診査（妊婦健診の公費負担の拡充）

353 百万円（50 百万円増）

《概要》妊婦健康診査について、公費負担を2回から3回に拡充し、他の政令市に先行して実施します。

ウ) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの充実

100 百万円（19年度拡充分）

《概要》医師9人増、小児病棟の改修などを実施します。

エ) 特別保育の充実 110 百万円（36 百万円増）

《概要》・一時保育（44ヶ所→50ヶ所）

・延長保育（115ヶ所→125ヶ所）

・休日保育（7ヶ所）、病児・病後児保育（8ヶ所）の実施

オ) すくすく子育て支援、**新**育児不安を抱える親支援事業

63 百万円（13 百万円増）

《概要》19年度からは、経産婦の方等への電話、アセスメント票の郵送による産後うつ等の早期把握等の取組みを拡充します。

カ) **新**母子家庭のお母さんのための就業促進強化事業

3百万円

《概要》母子家庭のお母さんを対象として、就職に結びつきやすく、受講希望者の多い就業支援講座や新たに検定試験前の補習講座などを開催することで、より多くのお母さんの就業促進を強化します。

②「子どもたちの確かな成長を支える教育の重点化」

未来を担う子どもたちの教育を確かなものとするため、教育環境の改善充実に取り組みます。

● 関係予算額（歳出額）：約87億円（約21億円増）

〔 学校施設耐震補強（18年度3月補正含む）〕

● **主な新規・拡充事業**

ア) **新**「子どもの未来をひらく教育改革会議」事業 5百万円

イ) **新**少人数学級実施に伴う教室整備事業 140百万円

《概要》少人数学級を実施します。

平成20年度～ 小学校1年生と中学校1年生

平成21年度～ 小学校2年生に拡充

ウ) **新**食育推進事業 9百万円

《概要》「食育推進会議」を設置し、「食育推進計画」を策定するとともに、中学校給食のあり方についても検討します。

エ) **新**学校給食食器改善事業 114百万円

《概要》アルマイト食器を使用している全小学校（102校）に、熱を伝えにくく、また優しく温かみを感じる「PEN食器」を一斉に導入します。

オ) **新**いじめ撲滅のための市費講師配置事業 26百万円
《概要》いじめへの対応として人員の配置が特に求められる学校に対し、市費講師を配置します。

カ) **新**さわやかトイレ整備事業 377百万円
《概要》小・中学校全校のトイレについて、これまで進めてきた悪臭対策、小学校トイレ完全男女別化に加え、洋便器の増設、内壁及び天井等の塗装を追加実施し、「明るく、清潔な」トイレを4年間で整備します。
・整備完了目標 平成22年度
・総事業費 約28億円(見込み)

キ) 学校施設耐震補強 92百万円
《概要》・耐震診断実施校数 年8校(予定)
・耐震補強工事実施校数 年7校(予定)
〔ほかに18年度3月補正として1,213百万円、(14校分)〕

ク) スクールカウンセラーの配置拡充 136百万円(27百万円増)
《概要》全中学校に配置しているスクールカウンセラーについて、時間延長(週8時間→週12時間)を行うとともに、必要に応じて小学校にも派遣します。

ケ) 元気な子どもをはぐくむ地域・学校連携事業
～スクールヘルパーの配置拡充～ 61百万円(3百万円増)
《概要》子どもの安全対策や教育活動支援のために活動しているスクールヘルパーについて、その内容を拡充します。
《拡充内容》スクールヘルパーの活動回数の増
のべ約8,000人日分

コ) **新**北九州市立高等学校学生寮整備及び管理運営 46百万円

《概要》北九州市立高等学校(19年4月 戸畑商業高等学校から校名変更)で、部活動振興のための学生寮の整備等を行います。

《学生寮概要》元北九州市職員独身寮(戸畑区天籟寺)を再整備
平成20年1月開所予定

サ) 放課後児童対策の充実 951百万円(138百万円増)

) 放課後児童健全育成事業 483百万円(31百万円増)

《概要》放課後児童クラブ(95クラブ)の施設整備・増築、開設時間の延長等を行います。

新設等 6ヶ所 増築 4ヶ所

開館時間の延長クラブの増 20ヶ所

) 児童館の充実 468百万円(107百万円増)

《概要》児童館の改築(1館)、開館時間の延長など運営面の一層の充実を図ります。

開館時間の延長館の増 3ヶ所

シ) 若者ワークプラザ北九州運営事業

94百万円(10百万円増)

《概要》ワークプラザの面積を拡大するとともに、中学卒ニートへの支援として専門のカウンセラーを配置し、個別相談会を実施します。(平成19年10月実施予定)

③「老若男女がともに生きるための福祉の充実」

障がいがあっても高齢であっても誰もが人として尊ばれ、安心して暮らすことのできる社会づくりを推進します。

● 関係予算額（歳出額）：約 17 億円（約 1.1 億円増）

● 主な新規・拡充事業

ア) 障害者小規模共同作業所の助成強化等

503 百万円（244 百万円増）

《概要》障害のある方の作業訓練や生活指導を行う「小規模共同作業所」や、創作的活動や生産活動の機会を与える「地域活動支援センター」の運営主体への補助金を上げるなど、抜本的な充実を図ります。

- ・小規模共同作業所 補助基本額 360 万円 500 万円
- ・地域活動支援センター 補助基本額 560 万円 700 万円

イ) 新障害福祉サービス利用者負担軽減 300 百万円

《概要》障害福祉サービスにおいて、利用料の負担上限額の引下げ（1/2 → 1/4）等を行います。

ウ) 新障害児施設・地域生活支援事業利用者負担軽減

31 百万円

《概要》障害児施設の利用について、療育の推進と子育て支援の観点から食費、利用料を軽減します。また、地域生活支援事業と、法定給付にかかるサービスの利用者負担を合算して、国基準の月額負担上限額を適用することにより負担軽減を図ります。

エ) 障害者自立支援の充実 75 百万円

-) 新グループホーム・ケアホーム運営費助成事業 7 百万円
-) 新北九州市障害者就労支援センター事業 13 百万円
-) 新移動支援事業の拡大 55 百万円

- オ) **新**(仮称)北九州市保健福祉オンブズパーソン制度
 研究事業 1百万円
 《概要》保健福祉サービス利用者全体の権利及び利益を保護するための第三者機関として、保健福祉オンブズパーソン制度の設置について検討します。
- カ) **新**本城陸上競技場改修事業 400百万円
 《概要》第1種公認の更新にあわせ、競技場のトラックを改修するとともに、9レーン化を行います。
- キ) 体育施設改修(体育施設バリアフリー化推進事業等)
 95百万円(38百万円増)

④「美しき世界の環境首都の実現」

「世界の環境首都」の実現のため、市民環境力の強化と、あらゆる場面で環境負荷低減に配慮した美しいまちづくりが必要です。その実現に向かって着実な歩みを進めます。

● 関係予算額(歳出額): 約10億円(約1億円増)

● 主な新規・拡充事業

- ア) **新**太陽光発電等への補助金交付事業 23百万円
 《概要》太陽光発電設備、太陽熱利用設備や屋上緑化を設置、施工する市民、事業者に対して助成を行います。
 《補助対象》
- ・太陽光発電 @上限200千円×100戸
 - ・太陽熱利用温水器、屋上緑化
- イ) **新**菜の花プロジェクト関連事業 4百万円
 《概要》菜の花栽培～廃食用油の回収・再利用を通じて、環境教育、資源循環、新エネルギー利用を体感できる「菜の花プロジェクト」を推進するため、セミナーの開催、補助金交付、廃食用油回収拠点の拡充等に取り組みます。

ウ) **新**次世代エネルギーパーク構想推進事業 8 百万円
《概要》響灘地区を中心に展開しているエネルギー関連施設をビジ
ターズインダストリーとして活用し、あわせて企業誘致や地域産
業の活性化につなげます。

エ) **新**環境配慮型建築物整備促進事業 2 百万円
《概要》建築物総合環境性能評価システム(CASBEE)の活用によ
り、環境に配慮した民間建築物の誘導を図ります。

⑤「元気で可能性に満ちた経済都市づくり」

雇用拡大・産業振興をめざした企業誘致の促進や、地元企業振興を
何よりも大切にする戦略的な産業振興を進めます。

● 関係予算額(歳出額): 約125億円(約44億円増)

● 主な新規・拡充事業

ア) **新**北九州市産業雇用戦略策定事業 5 百万円
《概要》産業雇用戦略本部を設置し、産業・雇用政策の検討を進めます。

イ) 企業誘致関連補助金等

) 国際物流特区企業集積特別助成金
3,500 百万円(767 百万円増)

《概要》交付対象: 約30社(見込み)

投資総額: 約500億円(見込み)

) 企業立地促進補助金 333 百万円(259 百万円増)

《概要》交付対象: 約8社(見込み)

投資総額: 約10億円(見込み)

ウ) カーエレクトロニクス拠点化整備推進事業

130百万円(120百万円増)

《概要》北部九州の「カーアイランド化」に対応し、自動車業界のニーズに即応した実践的な「人材育成」と「研究開発」の拠点化を推進します。

エ) 新知的クラスター(第 期)推進事業 43百万円

《概要》現行の知的クラスター創成事業の成果を発展的に継承し、次世代産業に必要な技術の領域拡大と高度化を図る仕組みづくりを推進します。

オ) 新中小企業融資(小規模企業者支援資金融資)

3,000百万円

《概要》平成19年10月から導入される国の責任共有制度による金融機関の貸出リスクの負担のため、資金調達への影響が懸念される小規模企業者に配慮する100%保証が継続される制度を新設します。

《新規貸付枠》90億円(市予算額30億円)

カ) 新中心市街地活性化推進業務 22百万円

《概要》新たなまちづくり三法の仕組みを活用して、本市において核となる中心市街地の活性化を図るため、「新・中心市街地活性化基本計画」を策定し、都市機能の集積、商業振興等、一体的に活性化の取り組みを推進します。

キ) 小倉駅南口東地区市街地再開発事業 88百万円

《概要》本市の玄関口である小倉駅南口に都市計画道路とオフィスを中心とした多様な機能を備えた再開発ビルを一体的に整備し、魅力ある空間を形成します。

ク) 新「(仮称)農林水産業を考える懇話会」運営経費

2百万円

《概要》農林水産業の生産者、消費者、流通関係者などから率直な意見を聴き、今後の農林水産施策へ反映させます。

⑥「安全・安心や健康・子育てなどハートフルなまちづくり」

安全・安心や健康・子育てに地域で活用できるハートフルなまちづくりを進めます。

● 関係予算額（歳出額）：約26億円（約12億円増）

● 主な新規・拡充事業

ア) 防犯灯設置・設置補助の拡充

) 防犯灯設置補助事業（自治会補助）の拡充

26百万円（11百万円増）

《概要》町内会等が防犯灯を設置する工事費について、補助金を交付します。

《制度改正内容》 ・設置灯数の増（20%）

・補助率の引き上げ（1/2→2/3）及び補助上限額の見直し

) 防犯灯等設置事業（市施工）の拡充

14百万円（2百万円増）

《概要》自治会等が設置困難な箇所市が防犯灯等を設置します。

《制度改正内容》 ・設置灯数の増（20%）

イ) 市営住宅ふれあい巡回事業の拡充

43百万円（10百万円増）

《概要》市営住宅に住む65歳以上の一人暮らしの高齢者を訪問して、安否の確認や悩みごとの相談等を受けることで、高齢者が安心して暮らせる環境を整えます。

ウ) **新**市民センター分館整備事業

59百万円

《概要》小学校統合校区等において市民センター分館を整備します。

《整備箇所》門司区柄杓田、八幡東区天神

エ) **新**「ハートフル公園計画」の策定

8百万円

《概要》まちづくり協議会をはじめとした地域住民の声を聞きながら、地域の特性を活かした「ハートフル公園計画」を策定します。

オ) **新**西小倉駅前第一地区市街地再開発事業 241百万円

《概要》まちなか居住の促進と防災機能の向上、良好な都市環境を形成するため、高層マンション等を整備し、地域の活性化を図ります。

カ) **新**「厚生年金病院跡地」暫定広場整備事業 80百万円

《概要》本格整備に着手するまでの間、厚生年金病院跡地の平坦な用地について、暫定的に広場として活用できるように整備を行います。

キ) 北九州市住まい支援事業 147百万円(29百万円増)

《概要》市外から本市への転入を促進するため、市外転入者に対し、住宅購入借入金に対する利子補給(最大100万円)を行います。

ク) **新**ハートフル住宅金利優遇制度 452百万円

《概要》高齢者仕様、省エネルギー仕様、耐震仕様の人と環境にやさしい住宅を普及促進するため、住宅の取得やリフォームにかかるローン金利の優遇を民間金融機関と連携し実施します。

⑦「市民と共に歩む市政運営の推進」

市民主体のまちづくりを進め、さらにハートフルな市政を市民とともに推進する行財政体制の整備を行います。また、豊かで安全な地域社会づくりに貢献するNPOやボランティア活動など多様な市民活動を促進するための支援制度を創設します。

● 関係予算額(歳出額): 約3億円(約1億円増)

● 主な新規・拡充事業

ア) **新**(仮称)都市経営戦略会議運営事業 5百万円

イ) **新**新・北九州市基本構想策定事業 40百万円

ウ) **新**自治基本条例の制定 2 百万円

エ) **新**民間経営参画による行政サービスの展開 2 3 百万円

《概要》民間事業者参画の基本的考え方を整理し、その枠組みを整備
します。

- ・ 民間事業者の経営参画の推進
- ・ P F I 推進事業
- ・ がんばる指定管理者アイデア活用制度

オ) 地域総括補助金 (防犯灯関連を除く)

1 4 7 百万円 (6 3 百万円増)

カ) N P O ・ ボランティア活動促進事業

1 8 百万円 (2 百万円増)

《概要》N P O、ボランティア活動等の市民活動に関する各種支援を
実施するとともに、新たに、「(仮称) 市民活動促進検討委員会」
を設置し、効果的な市民活動促進策等の検討を行います。

キ) まちづくりステップアップ事業

1 6 百万円 (4 百万円増)

《概要》まちづくり団体等が主体的に取り組む地域の特性を活かし
た自主事業やN P O 等が連携を図りながら取り組む新たな
まちづくり活動の支援を行います。

《制度新設内容》「(仮称) N P O 活動ブラッシュアップ事業」の新設
(対象事業) 具体的な地域課題の解決につながる事業 など
(助成金額) 1 件あたり上限 5 0 万円 (対象となる事業費の
1 / 2 以内) × 1 0 団体

(4) その他の重要施策

① 市のにぎわいづくりの推進

● 主な新規・拡充事業

ア) (仮称)北九州市にぎわいづくり振興計画の推進 27百万円

《概要》(仮称)北九州市にぎわいづくり振興計画の着実な実施に向けて、「北九州市にぎわいづくり懇話会」と連携し、民間と一体となった取り組みを進め、新たな賑わい産業の創出・振興を図ります。

また、情報誌「雲のうえ」を制作し、北九州の「いま」を首都圏を中心に発信することで都市のイメージアップを図ります。

イ) 新門司港レトロ観光列車推進事業 28百万円

《概要》観光客の回遊性向上や滞在の長時間化、新たな広域観光ルートの形成を図るため、休止中の臨港鉄道を活用し、門司港駅と和布刈地区を結ぶ観光列車構想の事業化に向け、施設等の測量・設計などを行います。

ウ) 新(仮称)北九州市漫画ミュージアム開設準備事業 22百万円

《概要》漫画文化の振興を図り、まちのにぎわいづくりを創出するため、松本零士氏をはじめとする本市にゆかりのある漫画家の資料等を収集・展示するとともに人材の育成を行なう(仮称)北九州市漫画ミュージアムの開設準備を行います。

エ) 新(仮称)松本清張生誕100年記念事業 5百万円

《概要》本市出身の作家、松本清張の生誕100年にあたる平成21年に実施予定の記念事業の準備を進めます。

② 市民の安全・安心の向上

● 主な新規・拡充事業

- ア) **新**(仮称)堺町安全・安心センター建設事業 3百万円
《概要》福岡県警の堺町特別対策隊の仮設建物を建替え、暴力団壊滅及び
繁華街の再生に向けた警察・市民活動の拠点として本格整備を行います。
- イ) **新**「ハイパーレスキュー北九州」の創設 35百万円
《概要》大規模な自然災害やテロ災害等に迅速かつ的確に対処するため、
高度な知識及び装備を持つ「特別高度救助隊」と「特別高度化学救
助隊」の設置に加え、救命効果の向上を図るため、救急隊を配備す
る救急ワークステーション方式の「高度救急隊」を市立八幡病院に
整備します。
- ウ) **新**老朽廃屋調査事業 7百万円
《概要》適正な維持管理がされず、安全面や衛生面などで問題がある、い
わゆる「老朽廃屋」を点検・調査し、改善指導を行います。
- エ) **新**北九州市モラル条例推進事業 16百万円
《概要》市民が守るべきモラルを明確にし、その違反者に対し罰則を適用
するなど新たなルールづくりとして、モラル条例を制定します。
- オ) **新**橋梁防護柵対策事業 53百万円
《概要》事故防止の観点から、橋梁防護柵の改修を緊急的に行います。

③ 物流の高度化

● 主な新規・拡充事業

ア) 北九州空港航空貨物拠点化推進事業 54百万円

《概要》航空貨物ネットワークの拡充や物流事業者等の集積を図るため、貨物チャーター便や貨物横もちへの助成の実施をするほか、トーイングバー・トーイングカーの整備を行うなど、航空貨物取扱いの実績を積むための事業を展開します。

イ) 新ひびきコンテナターミナル公共化事業 4,510百万円

《概要》ひびきコンテナターミナルの公共化に伴い、ひびきコンテナターミナル株式会社が所有する資産を買取るとともに、新規港運事業者の参入等に対する支援を行い、ターミナルの安定的な運営を図ります。なお、公共ターミナル化に要する経費は、今後のひびきコンテナターミナルの使用料収入で回収できる見込みです。

ウ) 物流ネットワークの構築や企業誘致の促進等のための道路・港湾等の整備事業

《概要》物流ネットワークの構築や企業誘致促進等のために必要な道路・港湾等の整備を進めます。

《主な事業箇所》

- ・新若戸道路 約46億円
- ・砂津長浜線 約26億円
- ・国道3号黒崎バイパス 約16億円
(平成19年度 舟町ランプ～陣原ランプ供用開始)
- ・尾倉ランプ 約9億円
- ・港湾整備(新門司地区等) 約11億円 等